

水稻を基幹とした持続可能な経営の確立

～創（総）意工夫で未来へ躍進～

活動年次：令和3年～4年

空知農業改良普及センター中空知支所

1 課題設定の背景 *****

対象：新十津川町総進4・5地区 13戸

現状

- 水稻単作、水稻＋園芸・畑作の家族経営主体
- 規模拡大志向農家への農地集積は一段落
- 若手後継者が比較的多く、経営移譲が続いている

問題点

- 水稻：品質や蛋白質含有率の年次・個人間差が大きい
- 園芸品目：収量の個人間差が大きい
- 今後の規模拡大や親世代のリタイヤにより労働力不足となる恐れ

課題

- ◎各作物の収量・品質の高位安定化
- ◎今後の労働力不足に備えた省力化や労働分散の推進

2 活動の経過 *****

高品位米出荷率の安定化



適正施肥実証ほ打ち合わせ

土壤診断に基づく適正施肥の提案



初中期一発剤＋中後期剤（移植後2日）（7月1日）

雑草（シズイ）対策支援



水田センサー利用や密播中苗の省力効果等を検討



個別課題の取組結果を懇談会で共有

生育に応じた畑作物の適正管理



ドローンでの生育ムラ解消できない？

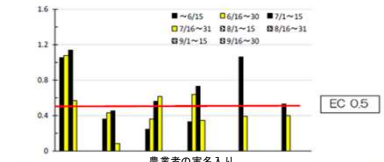
畑作物へのドローン活用実証

ミニトマト収量の高位安定化

総進4・5地域通信 No.6 空知地域情報 園芸編 令和4年8月10日

ミニトマトの土壤ECの傾向（7/25）

(1) 3段目開花以降の各ほ場の土壤ECの傾向



前年の傾向からEC値0.5以上を維持することを目安に草勢を確認して施肥を行う。



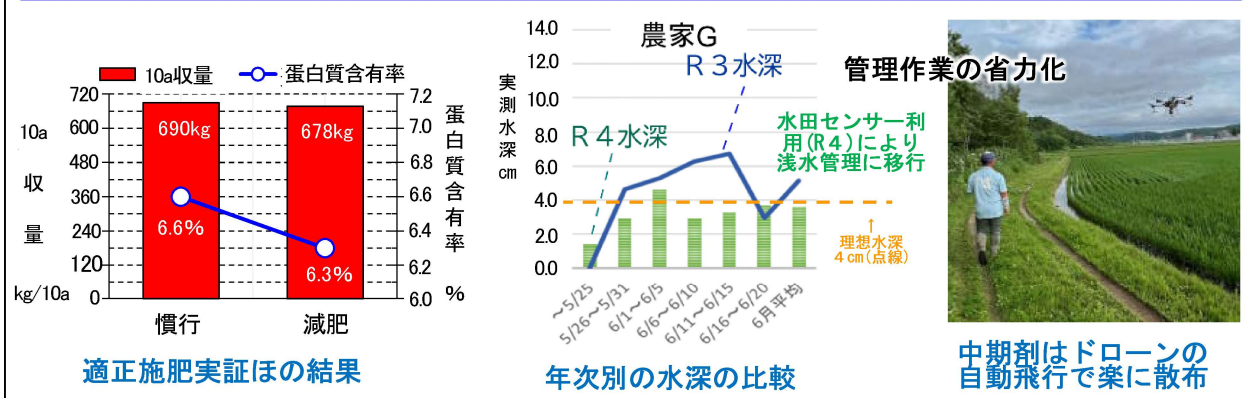
「総進4・5通信」と個別巡回で農業者と密接な意思疎通

適正な草勢に向けた施肥の提案

戸別巡回・個別面談を通じて、農業者の実情にあった実行可能な技術対策を提案

3 活動の成果 *****

高品位米出荷率の高位安定化～栽培改善項目実施戸数：目標3戸 実績4戸

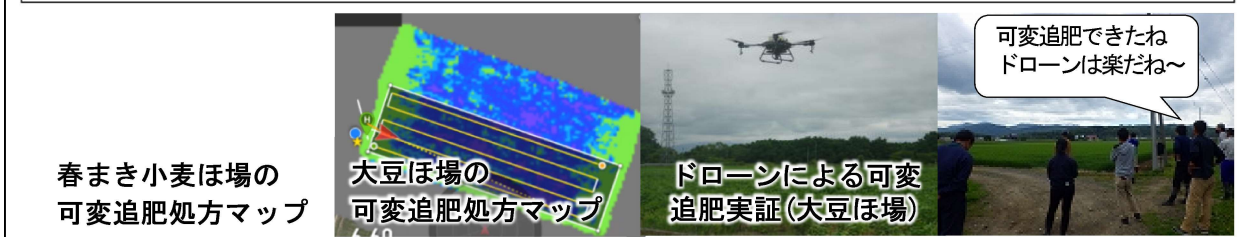
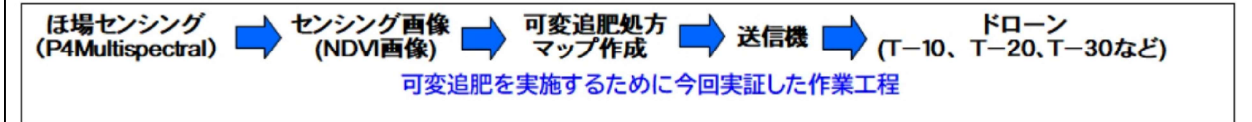


減肥しても収量・品質に問題がないことを実証

水田センサーの利用による適正な水管理を実践

提案した除草剤体系処理の除草効果を確認

生育に応じた畑作物の適正管理～ドローン活用した畑作物の管理作業項目数：目標3 実績4



春まき小麦と大豆でドローンによる生育に応じた栽培管理が可能であることを実証

ミニトマト収量の高位安定化～基本技術実施戸数：目標3戸 実績2戸

各農業者が取り組んだ基本技術

- ①適正施肥
- ②適正追肥
- ③適正防除
- ④交配技術の導入
- ⑤遮光資材の利用

減肥して生育が、丁度良くなったよ

こうすればいいんだ 勉強になるね

順調ですね

隣接地区のミニトマトの視察

基本技術5項目の実践農業者が1戸から2戸に増加

4 今後の活動 *****

- 高品位米の安定生産に向けた栽培改善を進める。
- ドローンを活用した大豆・小麦の栽培体系の検討、センシングに基づく適正追肥量の指標作成に向け検証を進める。
- ミニトマトの適正施肥及び基本技術の励行を引き続き推進する。
- 時期別労働時間や労働力に応じた適正面積等の情報を提供し新規作物導入を推進する。